

～林業専業で地域の森林を守る！～ 館野 勉さん（久万高原町）

1959 年生まれ



【経営概況】

所有森林 約53ha（スギ42ha、残りはヒノキ） 経営受託森林 約15ha

●所有森林の内訳

林種等		年齢	年齢																	計
			I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI	XVII～	
人工林	育成 単層林	スギ			0.01		0.03	0.21	2.53		11.12	12.83	2.57	3.72				5.03	4.18	42.23
		ヒノキ		0.27	0.02		0.6	0.72	1.02	0.74	1.71	2.72	0.74						1.75	10.29
		その他						0.11	0.25			0.18								0.54
計			0.27	0.03		0.63	1.04	3.8	0.74	12.83	15.73	3.31	3.72				5.03	5.93	53.06	

【経営目標】

■自分たちの山は自分たちで管理！

久万高原町は優良材の産地として有名ですが、最近では高齢化や後継者の不在などにより、森林の管理を森林組合に委託する森林所有者も増えています。そのような中、「自分たちの森林は自分たちで管理する」をモットーに、質の揃った優良材の生産を目指して頑張っていますが、所有者が自分で施業ができなくなった一部の山は、地域の中で管理を引き受けています。

平成26年度からは、高率の補助事業が導入できるよう、地域の所有者と共同で「森林経営計画」の策定に着手し、平成27年度に無事、認定を受けることができました。今後は、この計画に沿った施業を実施し、より良い地域の山を作っていきます。

【機械化林業】

■少人数で生産性を上げる！

基本的に山での仕事は夫婦二人でやっているのですが、生産性と安全性の面から機械化は欠かせません。グラブとウインチが付いた小型のバックホーや運材車の他に、5tのプロセッサ、5tのフォワーダ、6tのスウィングヤードを使い分けています。また、機械の能力を十分に発揮できるよう、林内路網密度300m/haを目安に作業路を開設しています。

最近では、自分の山も含めて8～9haの間伐を実施し、700m3前後の木材を生産しています。

●機械装備の一部



●作業路開設風景



【ちょっと工夫】

山での仕事が効率よくできるように、機械の改良にも取り組んでいます。

- 一人での集材作業が効率よく行えるように改良したラジコン付きダブルドラムウインチ「あつめ太郎」

